

三鷹市立第六小学校 令和8年度【家庭】授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年			
第2学年			
第3学年			
第4学年			
第5学年		<p>【現状】 ○調理実習や裁縫活動など初めての活動に興味をもち、友達と協力しながら安全に取り組もうとしている児童が多い。</p> <p>【課題】 ○裁縫や調理の技能差が大きい。</p> <p>○学校で学んだことを、家庭生活への関心や実践力につなげることが難しい児童もいる。</p>	<p>◎地域人材や学習用タブレット端末を活用し、個々の進度や理解度に応じた学習を行うようにする。</p> <p>◎家庭と連携を図り、学びの連続性を意識させながら指導を行う。</p> <p>◎個々の課題設定を行いながら学習を進めるとともに、互いに学び合いながら課題解決を行う学習をデザインしていく。</p>
第6学年	<p>【成果】 ○初めての調理実習や裁縫活動に高い意欲で安全に取り組むことができた。</p> <p>○家庭に協力をお願いしながら、学校と家庭とでつながりながら学習を進めることができた。</p> <p>【課題】 ○家庭環境や学習により生じた調理や裁縫など知識や技能面の個人差をどう補充していくか。</p>	<p>【現状】 ○高い意欲で毎回の授業に臨んでいる。</p> <p>○実習学習だけでなく、理論学習にも自分の生活経験と照らし合わせて考えることができている。</p> <p>【課題】 ○児童ごとに技能面の差が生じている。</p> <p>○学んだことやこれまでの実生活での経験から考えることはできているが、今やこれからの生活改善につなげる実践力が少し弱い。</p>	<p>◎実習等で学習ボランティアの手を借り、広い目で児童の実習を指導できるようにする。また、児童が幅広く実習できるように計画を工夫する。</p> <p>◎長期休み等を活用し、学習したことを実生活につなげていく。</p>